

串間市議会 だより

3月議会 6月議会 9月議会 12月議会

2016年2月 No. 11

http://www.city.kushima.miyazaki.jp/modules/contents05/index.php?cat_id=1

「議会だよりは串間市のホームページからご覧になれます」

TEL 0987-72-0691 FAX 0987-72-0932

Pick UP

まち・ひと・しごと 総合戦略



国道 448 号から望む幸島



市木中学校

- ◆ 12月定例会のおもな内容 …… P2
- ◆ 常任委員会報告 …………… P3~P4
- ◆ 行政視察報告・議員研修報告 … P5
- ◆ 市政に対する一般質問 … P6~P12
- ◆ 討論 請願・陳情 …… P13~P14
- ◆ 審議結果 …………… P15
- ◆ ふるさと探訪 …………… P16

12月 定例会

平成27年度一般会計補正予算

118億8,740万円に



串間市営弓道場「平成28年1月 竣工」

平成27年12月定例会が11月24日から12月11日までの会期で開催されました。

今定例会では、9月定例会において継続審査となっておりました平成26年度の決算認定13件、一般会計他特別会計の補正予算13件、基準を定める条例及び条例の一部を改正する条例6件、その他3件、人事に関する3件が上程され、原案のとおり可決されました。

なお、今回の定例会は13名の議員が市長等に対して、一般質問を行いました。
その他、陳情1件を継続審査とし、可決しました。

常任委員会 活動りポ一ト

常任委員会は、議案の審査だけでなく、
市民生活に深く関わることについて調査研究を行っています。
最近の活動内容をご紹介します。

総務常任委員会

委員長 井手明人

議案6件、陳情1件の審査結果

◎議案第84号 平成27年度串間市

一般会計補正予算（第5号）

中、分割負託を受けた関係部分

全会一致で可決しましたが、
バイオマスの環づくり交付金事
業返還については万全の体制を
もって歳入確保に取り組むべき
との強い意見、及びICT関連
の業務委託等の執行については
徹底した見積もり項目の精査を
行い、経費削減に努めるべきと
の意見がありました。

◎議案第87号 平成27年度串間市民

病院事業会計補正予算（第2号）

賛成多数で可決しましたが、
病院事業の健全化を念頭に置き
経営状況に応じた、収入、支出
の整合性を図るべきとの強い指
摘がありました。

◎議案第96号 串間市行政手続きに

おける特定の個人を識別するた
めの番号の利用等に関する法律
に基づく個人番号の利用及び特
定個人情報提供に関する条例

全会一致で可決しましたが、マ

インバーの取り扱いの研修を徹
底し市民に不安の無いよう努める
べきとの意見がありました。

◎議案第98号 串間市民病院の設

置等に関する条例の一部を改正
する条例

全会一致で可決しましたが、診
療科目が設置目的に沿って運営で
きるよう今後も医師確保に努める
べきとの意見がありました。

◎議案第95号 被用者年金制度の

一元化等を図るための厚生年金
保険法の一部を改正する条例

◎議案第97号 市税条例の一部を

改正する条例

別段異議無く全会一致で可決
しました。

◎陳情3号 川内原発再稼働につ

いて公開住民説明会を求める陳
情書

2号機の運転が再開され状況
も変わったため、今後の推移を見
て検討したいため継続審査としま
した。

文教厚生常任委員会

委員長 川崎千穂

◎議案第84号 平成27年度串間市

一般会計補正予算（第5号）分
割付託を受けた関係部分につい
て全会一致で可決しましたが次
のような意見がありました。

【公立保育所運営事業費】

正規職員の採用がなく、嘱託
や臨時職員の配置で対応してい
るが、公立保育所の存続を明確に
し、正職員の採用を図るべき。

【笠砥小学校休校式典記念事業】

62万3千円の事業費を計上して
いるが140年の歴史があるので、

思い出深い式典になるよう取り組み、休校後も地域が利用できるよう検討するべき。

【学校管理費】

中学校の水道使用料が不足することに伴う増額補正が209万7千円計上されているが、当初予算時に正確な積算を行うべき。

◎議案第94号 平成27年度串間市

市木診療所特別会計補正予算(第1号)

採決の結果全会一致で可決しましたが、次のような意見がありました。

市木診療所の医師の退職手当を計上しているが、市民病院から医師を派遣することである。市民病院においても医師不足の為に早急に解決すべき。

◎議案第102号 公の施設の指定管理者の指定

可否同数で委員長採決となり可決しました。市外の団体が選定

されたが、市内のスポーツ団体との連携を図りスポーツキャンプ等の推進に尽力し、今後は雇用、地域経済を考慮し積極的に地元の団体を選定するべきとの意見がありました。

◎議案第103号 日南市と串間

市との可燃ごみ処理にかかる事務委託に関する協議について

賛成多数で可決しましたが、委託を行うが管理及び執行において日南市と対等の立場で協議するべきとの意見がありました。

産業建設常任委員会

委員長 福留 成人

今議会産業建設常任委員会に付託を受けた議案について審査しました結果をご報告いたします。

議案第107号は旧都井岬観

光ホテルの建物及び周辺の土地を購入するための予算を計上する議案であり、全会一致で可決しま

した。また、同建物を取得するため、最終日に追加提案された**議案第108号**について審議し、全会一致で可決しました。都井岬は重要な役割を担う観光地であり、現在抱えている問題等を同時進行で解決を図り、購入した土地は市が所有し続けるべきであり、議会や市民へ情報開示し、より多くの意見を取り入れ進めていくべきとの意見がありました。

議案第84号のバイオマスの環

づくり交付金事業の国県補助金等返還金については、やむを得ないと理解するが、事業主体からの回収に最大限努力すること、今回のような問題の再発防止に公的融資による担保の確保等あらゆる角度から対策を講じること、今後の経過についても適宜報告を行い、議会及び市民への説明責任を果たしていくべきとの意見がありました。

次に農地中間管理事業について

は、農地の集約や耕作放棄地の解

消につなげ市内農業者のニーズに応えていくこと、みやざき次世代果樹ブランド産地育成強化事業の金柑ハウスのフルオープン化は、経営安定に向けて継続して県に要望していくべきとの意見がありました。

議案第91号の下水道施設の維

持管理業務、**議案第100号**の市営弓道場の使用料は、全会一致で可決しましたが、弓道場は、市内の学生が使用する場合には免除を検討すべきとの意見や市内の競技人口の拡大や競技力の向上、スポーツ合宿や大会誘致に努め、施設の利用率向上を図るべきとの意見がありました。

議案第88号、89号、90号、92

号につきましては、別段異議なく全会一致で可決いたしました。

行政視察報告・議員研修報告



広報広聴・議会改革調査特別委員会行政視察
埼玉県所沢市 H27.9.30



議会運営委員会行政視察
島根県出雲市 H27.10.29



東九州自動車道要望活動
国土交通省道路局 H27.12.17



東九州自動車道要望活動
総務副大臣 H27.12.21



議員研修
総務省自治行政局行政課 H27.12.17



議員研修
総務省自治行政局行政課 H27.12.21

Q&A 一般質問

市議会議員が市に対して皆さんの生活にかかわる内容を質問します。

市長や行政委員会に市政の状況や将来の方針、住民生活に密接にかかわる事項について質問をすることで、串間市では今どんなことが行われているか知ることができます。



まちづくり

まちづくりは 人づくり



ふくどめ しげと
福留 成人 議員

上げ、育成支援を実施する。

串間市は、人口減少という大きな課題に直面しています。要因としては進学や就職で転出が多いこと、若者減少で出生数が少ないことは容易に想像できますが、それ以外はどうでしょうか。

例えば、若い人たちにとって串間市は住みやすいまちに映っているでしょうか。子育てを考えたときに選ばれるまちになっているでしょうか。安心して暮らせる環境という面では他市町村と比べてどう評価されているでしょうか。こういった分析をしっかりとし、効果的な施策を具体的に策定することが串間版総合戦略になります。今回の質問は、その進捗状況、また行政のスピード感や意識改革、民間の活力を活かす取り組み等を質しました。

AQ 歴史ある水産の町の再興について。

人材の確保と育成を図り、新たな養殖事業の可能性や5つの漁港を漁獲資源として活用できるよう調査・研究したい。

AQ 働く場所の確保と婚活について。

就職希望者と企業のビジネスマッチングに取り組み、未婚解消を図るべく市のPRとセットにした婚活イベントを模索し、市内観光地等、場所の準備が必要。

AQ 中心市街地まちづくりと「道の駅」の進捗状況について。

道の駅の具体的な検討案を作成中。まとまった段階で広く市民に公表し、意見を伺いたい。

AQ 新しい中学校の部活の魅力について。

中高合同での部活動の実施で、競技力や社会性の向上につなげた。

AQ 地方創生・総合プランにおける農業の位置づけについて。

農産物のブランド化や輸出の拡大、競争力の強化を図りたい。また、串間農業女子の組織を立ち

AQ 高齢者の生活支援について。

まずは、地域包括支援センターに相談していただきたい。高齢者の社会参加に、介護予防ポイント制度の導入についても検討している。

活性化

串間市の活性化について



せ お としろう 瀬尾 俊郎 議員

Q 親子3世代が心豊かに住める串間市作りと活力ある郷土作りの観点から農林水産業、観光振興を核とした人口減少問題を含め、地方創生をどのように進めていけるのか。

A 本市の基幹産業を核とした政策をもとに東九州自動車道の開通を見据えた道の駅、また、中心市街地まちづくり、都井岬振興策を盛り込み、人口減少の克服と串間市創生に取り組む。

Q 地方創生の面からみて、北方地区の支所の設置は大事な事ではないかと思うが、また、来年度4月から移行するゴミ収集問題等も支所のような拠点があると、高齢者等への対応策・支援にも繋がるのではないか、当局の考

えはないのか。

A 関係課と協議し次年度に向けて、地域コミュニティの再生を図るため、地域自治組織の立ち上げを目指して、組織づくりに必要となる「人材・拠点・費用」などの基盤整備を支援する新たな事業を検討しているところである。

その他、中学校の統廃合については、子供たちの学力向上・スポーツ面・集団生活で学ぶ人間性の育成など、プラス面はあると思うが、少人数の中のプラス面がマイナスに移行しては意味がない、クラス編成など熟慮して、串間市が誇れる中学校に、また、生徒の育成に鋭意努力していただきたい。

医療

「医師確保」に
全力で当たり
市民の安全を守れ



ふくぞえ ただよし 福添 忠義 議員

Q 市民病院は医師の絶対数が不足している。市木診療所も来年から医師不在となる。現場まかせでなく、市長自ら先頭に立って医師確保に努力すべき。

A 市民病院長らと一緒に努める。

Q TPPは地方創生に逆行する愚策といわれている。特に国会決議にある農業への影響は大きい。具体的な個別対策が必要だが、どう考えているか。

A まだ国から具体的な内容が発表になっていない。その推移を見て対策していきたい。

Q 市役所をはじめ、市の施設の駐車場は不足している。来庁者向けに確保を。また、市職員、議員から月極めで駐車料金を徴収して市の財源とするべきだ。

A 駐車場を整備して、職員・議員は有料とする。

Q 福島高校の存続支援策として、入学する成績優秀者に対し

月2万円の奨学金を3年間給付する計画だが、スポーツ優秀者も対象に含めるべきだ。

A スポーツ優秀者も給付の対象者に含める。

Q 働く場の創出には地場産業を含めた企業の育成と立地促進が急務。企業立地促進条例等を改正し、取り組まなければ地域間競争に遅れを取り、企業立地は進まず雇用が生まれない。どうするか。

A 企業立地の促進に向け、支援を強化する。

Q 旧都井岬観光ホテルを買収する件だが、同時に水、駒止の門の解決も急ぐべき。また、廃墟となっているホテル群も撤去計画を早急に策定すべきだ。

A 旧都井岬観光ホテルの買収後は建物を撤去し進出予定企業と協議を進める。飲料水の確保は計画。駒止の門は協議中。廃墟建物撤去は検討する。

串間創生

串間創生は
市民一丸から



たけだ こういち
武田 浩一 議員

Q 9月議会前に人口ビジョン案が示され、今回串間市総合戦略素案の概要が示されました。串間市長としての方向性と決意をお伺いします。

A 本市の基幹産業である農林水産業、東九州自動車道を見据えた道の駅を含みまちづくり、都井岬復興策を盛り込んだなかで、人口減少の克服と串間創生に取り組んでまいります。

Q 串間市の総合戦略、人口ビジョンの長期展望を実現するための課題は何か、どう取り組んでいかれるのかお伺いします。

A 本市を離れた若い世代が再び戻りたいと思える環境、雇用の質と量の充実を図ることが大きな課題であり、本市の将来を担う人材を呼び込み、また、流出を食い止めることが重要であると考えます。

Q 今までの議論を踏まえると、「一に「雇用創出」、二に「子育て支援」のようであるが、この串

間創生は、市民一丸、全庁一丸とならなければ成し得ない。また、串間の未来は無いと考えますが、総合戦略の基本目標や具体的な施策を各課がどう担うのか、直接担うところがない課や職員はどのような形で串間創生に取り組んでいられるのかお伺いします。

A 基本の目標の「雇用の創出」と「子育て支援」が核になると考えており、商工観光、農林水産、福祉部門が中心ですが4つの基本目標は、有機的な関係を持ち担当課だけではなく、連携が必要だと考えております。市長の下、全庁一体となり、同じ目標に取り組む必要があるものと考えております。

Q 串間創生には、市民一丸が必須であり、串間を端的に表すシンボリックなものやロゴが必要だと思いが、それに対する考え方を伺います。

A 今後の検討課題とさせていただきます。今後検討課題とさせていただきます。

戦略

市民に示すべき
戦略とは



きしろ せいichiro
木代 誠一郎 議員

Q 旧都井岬観光ホテルとその周辺の土地を市が取得した場合、土地自体は市が責任を持って管理すべき。見解は。

A 基本的に市が管理すべきと考えている。ベストな選択をしたい。

Q 市役所採用試験の地元優遇枠を設けるならば、連携型中高一貫校で学業だけでなく串間での地域活動や課外活動カリキュラムを積極的に取り入れるべき。それが串間を知り、社会を知り、人間力を高めることに繋がるのでは。

A 「くしま学」をさらに充実させるとともに、来年度から福島高では「くしま学」に加え新たな学校設定科目として地域創生学に取り組む。

Q 串間創生を成し遂げる中で、新婚・子育て世代の支援は串間創生を左右するほど重要だ。遊休資産を活用し、負の遺産をプラスに転換している宮城県色麻町の「あたご住宅」のような地域活

性化住宅をぜひ参考にすべきだ。大変参考になる事例だ。今後は財政的な側面も踏まえ、具体的な制度設計を積み上げていきたい。

Q 主権者教育の一環として、まず子ども会議を実施し、その後その中で集約された意見や提案・政策を子ども議会として開催することが極めて重要では。

A 引き続き子ども議会については、全庁的に協議していく。

Q 総合戦略は金太郎あめ、八方美人が一番だ。串間創生総合戦略の核となるものは何なのか。その核をもとに、それぞれの分野で横串が刺せているかだ。

A 若い世代が串間に戻りたいと思える環境整備、雇用の質・量の充実を図ることが一番の課題だ。将来を担う人材を呼び込み、人材の流出を食い止める取り組みが最も重要だ。

教育・医療

教育、医療行政
について



かわさき ちほ 川崎 千穂 議員

福島高校の存続

AQ 福島高校支援の財源確保の取り組みと、市長の決意を伺いたい。給付型の奨学金を打ち出したが財源確保については厳しい財政状況であります。串間市の重要な課題であるので、大胆かつ積極的に取り組んで行く。

AQ 29年度の入学者の目標は。中学の卒業生1226名中1クラス40名に照らし81名を超えることが必要である。

Q 在校生が福島高校の魅力を感じ、串間市ならではの科を設置し市内外、全国から生徒を募集してはどうか。

A 全国から生徒を集めることは大変重要、遠距離通学者の通学費の助成J.R.を利用する生徒に定額全額を補助し、一人でも多くの生徒が入学するよう期待する。

乳がん、子宮頸がん検診の受診促進

AQ 当市のコール、リコール事業の取り組み。クーポン券を配布し、未受診者の方には2回受診勧奨のハガキ

で通知、40歳節目の方には、直接電話による勧奨を行っている。

AQ 国の目標である50%に届いていない課題にどう取り組むか。職域との連携等も検討し、更なる受診率向上に努める。

AQ 夕方6時以降の検診や女性が集まる場所、成人式での受診勧奨の実施の考えは。日曜受診を設定することができ受診率向上に一段階クリアできた。今後も先進地の手法を参考に医療機関と協議の上進めていく。

AQ 認知症早期発見の取り組み。認知症サポーターの養成や、認知症地域支援推進員による認知症についての啓発活動を進めていく。

Q 串間市まち・ひと・しごと創生総合戦略に子育て世代を支える施策として、不妊症、不育症の方への助成を取り入れるべき。

A 不妊・不育で悩む方への支援にもっと力を入れるべきと考えており、今後、前向きに検討していきたい。

TPP

TPP 農業の損失1兆円
TPPは亡農亡国への道



こだま まさたけ 児玉 征威 議員

「戦争法廃止は急務です」

○日本共産党は、憲法違反の戦争法を廃止し、日本の政治に立憲主義と民主主義を取り戻す、戦争法廃止、安倍政権打倒の国民連合政府の実現を呼びかけています。その実現のために力を尽くします。

○TPP、国会決議違反、「対策」もごまかします。

Q マスコミも「国会決議違反、臨時国会は開かれず、合意内容の審議が十分つくされていないなか、政府の対策大綱決定は、農家の反発の沈静化が狙い」と批判しています。農業分野の被害額は1兆円、関税撤廃の影響は4兆円の税収減です。地方創生に逆行する愚策です。TPPは国会の承認が必要で、大筋合意は終わりではなく、これからの運動にかかっていますか？

A 「影響を懸念、国に対して万全な対応等を要望してきた」

○アベノミクスで貧富の格差が拡大。

Q 子ども・高齢者・母子・父子・寡婦（夫）家庭の貧困化が大きな社会問題になっています。串間市の貧困

化の現状はどうなっていますか？ 子どもの医療費助成に国がペナルティを課しているが？

A 「母子213・父子34世帯、寡婦・父控除は、640名の申告、ペナルティは約1千万円、国に廃止を求めたい」

Q マイナンバー、串間市の状況は？

A 「12月1日現在、600件返戻がある、書類申請に番号記入の義務も罰則もない」

Q 新しい中学校の安全対策について。

A 「来年度予算で県の調査で裏山が土砂災害特別危険箇所を指定を受け、2600万円ですべて災害対策工事と穂佐ヶ原から桜ヶ丘間の防犯灯等の安全対策を進める」

Q 市民窓口の配置について。

A 「協議を進める」

政治姿勢

市長の政治姿勢
について



たけだ まさひで
武田 政英 議員

◎市長の政治姿勢
・地方創生事業の人口ビジョン

AQ 平成72年の人口を1万人程度とする素案に対する市長の所見は、国県や国立社会保障人口問題研究所、日本創生会議人口問題検討分科会の推計値等から総合戦略の施策を実施することにより、目指すべき将来像として示していると考えている。

・都井岬再開発

AQ 買収後の都井岬観光ホテル跡地について。これまでの経緯もあり所有を前提になるべく早く全体計画を示すよう努力する。

◎教育行政

Q 福島高校の通学支援は、市木中など市内の生徒にも必要ではないか。また、高校支援については、広く市民に説明が得られるよう説明をしていくべきでは。

A 福島高校支援事業、連携型中高貫教育、串間市奨学金資金の返済免除の制度などの取り組みにより、地域で育つ人材の育成に努めていきたい。また、市民への説明を行う。

◎行政改革

AQ 人事評価制度は来年4月から実施だが評価の反映はいつか。
任用給与、分限等人事管理の基礎。初年度はすべて反映するのは難しい。

◎福祉行政

Q 生活困窮者支援事業の相談や支援の状況は

A これまで27件。総合相談窓口として自立促進に取り組み。

◎消防行政

AQ 消防団の自主訓練を奨励する手当支給の考えは。団幹部と協議する。

◎市民の安心安全

AQ 振り込め詐欺の対策強化は。関係機関と連携し啓発の回数を増やし防止をはかる。

◎農林水産商工業振興

AQ 畑作経営改善対策実証事業で収穫した麦の品質評価は。長雨の影響を受けたが大東産味噌として地元で販売。

AQ 新たな水産資源開拓推進事業の取り組みは。ハマグリに適した箇所を放流。5カ年モニタリングする

AQ 商工業振興対策事業の28年度の取り組み。

AQ 共通商品券発行事業や景品付き年未大売出し等を予定。

◎その他の質問

AQ ・連携型中高貫校、奨学金制度、生涯学習、臨時福祉給付金、交通安全、交流促進、中心市街地まちづくり事業等。

マイナンバー

マイナンバー制度の
罰則について



やまぐち なおとく
山口 直嗣 議員

Q マイナンバー制度（番号制）に係る対応についてであります。行政事務の効率化や国民の利便性の向上、公平公正な社会の実現を目的とし、社会保障・税・災害対策の事務に使用するための場合に限り許可されます。その取り扱いについて提供や収集等の制限を設けるとともに、取り扱いに対して厳しい罰則があると聞きましたがお聞かせください。

月以下の懲役または50万円以下の罰金。
などとなっており、個人情報保護法に定める6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金と比較して格段に重い刑罰が科されます。

A 正当な理由なく特定個人情報を提供した場合4年以下の懲役か200万円以下の罰金、またはこの併科。
・不正利益目的で個人番号を提供・盗用・漏えいした場合は3年以下の懲役か150万円以下の罰金、またはこの併科。
・人をあざむく暴行、施設への侵入など不正行為で個人番号を取得した場合は3年以下の懲役または150万円以下の罰金。
・偽りなどの不正手段により個人番号カードを取得した場合は6カ

番号制の導入によって行政間の連携を図り、所得や年金の受給状況が把握しやすくなるため、負担を不当にのげられることや、給付を不正に受け取ることを防止するとともに、本当に困っている方にきめ細やかな支援を行う社会を実現いたします。

Q 市木の諸問題についての質問

・市木診療所の医師について。
・国道448号軸地区災害に対する迂回路整備について。
・フットパス（歩く小道）の市民への啓発について。
・人口減少対策に対しての市木でのU-Jターンについて。

TPP

串間市の農林水産物
へのTPPの
影響について



いまえ たけし 議員
今江 猛

Q TPP 協定交渉の大筋合意に伴う串間市の農林水産物への影響について。

A 具体的な影響につきましては、今後の精査となりますが、先月、県が整理しました「米」については、新たに設定される国別枠による輸入量の増加に対し、備蓄米の運営を含め国産米に与える影響を回避する確実な措置が講じられない場合、国産米全体の価格下落など。「牛肉」については、和牛肉は競合の度合いは小さいと見込まれるが、品質的に競合する交雑種・乳用種牛肉を中心に国内産牛肉全体の価格下落など。「乳製品」については、安価な脱脂粉乳やバター等の輸入増加により、牛乳を含め

た乳製品全体の国内需給への影響など。「野菜」については、一部品目について、長期的には需給バランスの変動、参加国からの輸入増等による価格下落など。「花き」や「茶」を除き、何らかの影響が想定されており、本市においても影響を懸念しているところであります。

Q 串間地区の無線インターネット環境の整備について。

A 串間地区は、一部を除いて無線によるインターネット接続はできないことは承知しております。今後は、市内全域を対象としたブロードバンド整備の中で検討していきたいと考えております。

総合戦略

総合戦略に
メリハリを



いであきと 議員
井手 明人

○地方創生

Q 総合戦略にもっとメリハリをつけ、市民の共感を得られるものにするべきではないか。

A 「雇用創出」と「子育て世帯への支援」を地方創生の柱に位置付け、市民に共感してもらえ、総合戦略を策定していく。総合戦略を推進していく上で「地域おこし協力隊」制度での人材募集を計画している。

Q バイオマス発電施設の建設が現実味を帯びてきたが、市としてはもっと積極的に支援・協力していくべきではないか。

A 市として再生可能エネルギーを推進していく上でもバイオマス発電は重要であり、前向きに支援・協力をしていく。

○道の駅

Q 道の駅に関する各部署の議会・議員の意見や提案は届いているのか。

A これからは各部署開催の折に伝えることにする。

Q 交流人口増加のためにも道の駅の一角にホテルが必要ではないか。

A 市内の宿泊施設の現状を考えると、新しいホテルの建設は必要だと考える。

○観光振興

Q 都井岬の再開発は道の駅に先行すべきであり具体的な計画を示すべき。

A 道の駅建設と歩調を合わせる形で考えており、近々計画案を示す。

Q エコツアーズムについては農家民泊型の体験観光も取り入れるべき。

A 今後、導入を予定している。

Q 串間市出身でもあり漫画家の東村アキコさんに串間のPRをお願いしたらどうか。

A 人気漫画家でもありインパクトは大きいと思われるのでアプローチを試みる。

○ブロードバンド基盤整備

Q 「社会資本整備総合交付金」の活用は怎么样了か。

A 同交付金が通信関係で使えなくなり、九州総合通信局と協議をした。串間市のニーズを明確にして計画的に取り組んでいく。

○その他

Q 契約・入札、ふるさと納税について質問しました。

政治姿勢

市長の政治姿勢について



さかなか よしひろ
坂中 喜博 議員

◎市長のトップセールスについて

Q 串間市は人口減少を食い止め、豊かな住環境を維持していく為に産業振興や雇用の場の確保に全力を掲げて取り組むことが地方創生であるが、市長のトップセールスは何か。

A 東九州自動車道整備の促進に向け、一刻も早く事業化が図られるよう、自ら先頭に立ち国土交通省・財務省に地元の熱意を伝えていく。次に、都井岬の再興に向けてなんとしても実現していきたい。

◎買物弱者対策支援について

Q 少子高齢化や過疎化の社会情勢の変化に伴い、店や交通機関、医療・福祉等の日常生活に不可欠な「生活インフラ」が弱体化している地域について早急な対応が必要であるが対策は。

A 「移動販売」「宅配」「買い物代行」等多様なサービスを組み合わせることで活用することが考えられることから、スローライフサポート

マネージャーによる集落点検を実施し、関係課や商工会議所と協議し対応していく。

◎くしま学について

Q 福島高校において地域創生学がスタートするが、その内容について。

A 「地球規模で考え、足下から行動せよ」「くしまから考え、地球規模で行動せよ」を目標に、小中高で一貫して行われている「くしま学」をベースに、串間の魅力を探求し、活性化のためのアイデアの発表、串間の課題解決を提案していく。

◎その他

地方交付税の確保について・大隅地域半島振興計画について・TTP 農業対策について・高齢者の認知症、虐待の対策について・市木診療所の医師確保について・都井岬開発について等質問してまいりました。

活性化

活性化に向けての課題と対応について



かどた くにみつ
門田 国光 議員

Q 本市の活性化に向けての、課題と対応について、さらに公平公正な行政執行について市長の所見をお聞かせください。

A 総合戦略（素案）の概要でも示した通り、四つの基本目標を設定し、様々な施策を実施していきます。基幹産業である農林水産業を核とした施策、東九州道の開通を見据えた、道の駅を含む中心市街地まちづくりの施策、都井岬振興策など取り組んでまいります。まちづくりの施策は、効果が中心市街地だけに限定される施策であつてはならず、コミュニティバスの交通ネットワークを見直し、中心市街地は、他地域の人も利用する市民交流の場・集落ネットワーク拠点の場として、また、多世代交流の場となることを、期待している。

Q 市民サービスや移住者の受け入れのためにも諸手続きが一つの窓口でできる総合窓口を開設すべきだと思つが、その対応については。

A 現在は、各種手続きで移動をかけている、今後においては「ワンストップサービス」（総合窓口）を導入している先進自治体の取り組みを検証しながら協議検討してまいります。

Q 病院事業について26年度決算では約8444万円の赤字決算となつている、経営改善計画と、待ち時間の解消などサービス向上に向けての対策は。

A 経営については、病院運営改善委員会等で十分検討してまいります。また、常に患者さんの立場に立ちサービス向上に努めてまいります。

討 論

億円ともいわれる「道の駅」中心市街地まちづくり事業がはじまっています。抜本的な見直しを求めます。

●旧都井岬観光ホテルの購入

次の意見をつけて賛成いたしません。一つは、素晴らしい自然・景観、野生馬を保存、乱開発を許さないため4127万円で購入した土地

止、その理由も施設の利用計画も明らかにされず。返還金が返されなかった場合、市に支払いが転嫁されかねません。

●26年度決算認定についての反対の討論

1. 自治体の仕事は、自治法で「住民の福祉の増進に務める」となっています。暮らしが大変なのに、一般会計、串間市民は8000万円も多く固定資産税を納めています。滞納は1億2876万円、ゴミ袋代は毎年約1400万円の赤字、リサイクルの資源ゴミも1000万円以上の売却益です。自治会等に還元すべきです。都井観光の起爆剤として建設したビクターセンター、1463万円の赤字。串間温泉は入湯税を免除・水道料を市が負担、不公正な選定―経営難を理由に指定管理者を返上です。いま総事業費二十数

2. 所得1000万円、4人世帯の国保税は約20万円。夫婦の国民年金保険料は36万6000円、合わせると所得の56%です。とても払えない金額です。

3. 水道事業は、5323万円の赤字。9市で一番高い水道料です。引き下げるべきです。

4. 公共下水道の加入率は、目標80%に対して59%で毎年赤字です。

5. 介護給付費は94%、その結果、介護基金は1億3570万円（1人・1万8500円）の赤字です。包括支援センターも社会福祉協議会へ委託しました。

(約8万㎡)は転売しないこと。二つは、牧組合・地元・市民の声を取り入れた再開発計画を作成すること。

マイナンバー導入に伴って市が個人番号を利用する条例改正です。しかし、現在も本人に1割が届いていない状況での条例改正は止めるべきです。

●12月議会での反対討論

一つは、解体撤去費、駒止の門、水源問題などの多額の財源が見込まれている「道の駅」等の計画は抜本的に見直すこと。

「バラマキ」の財源確保のためのタバコ税の増税のための条例改正には反対です。

四つは、都井岬を日本・宮崎の拠点観光地として国・県が力を入れて整備すること。

新しい弓道場の利用料の条例改正、中学生・高校生の部活動の利用料金は無料にすべきです。

国が6780万円補助して穂佐ヶ原に2億1440万円で建設したバイオマス施設が稼働停止したこと、補助金のうち2990万円を、市を通じて国に返還するものです。突然の稼働停

総合運動公園・体育館を3年間で1億4558万円、東京の業者を指定管理者に選定したことは、地方創生にもスポーツ基本法にも逆行しています。

●可燃ごみを日南市に委託する条例は問題です。

「九電に川内原発再稼働の公開説明会の陳情」は継続でなく採択すべきです。

「九電に川内原発再稼働の公開説明会の陳情」は継続でなく採択すべきです。

例は問題です。

「九電に川内原発再稼働の公開説明会の陳情」は継続でなく採択すべきです。

返還するものです。突然の稼働停

「九電に川内原発再稼働の公開説明会の陳情」は継続でなく採択すべきです。

●賛成の討論

議案第107号、旧都井岬観光ホテルの土地建物及び周辺の土地を購入する議案につきましては賛成の立場で討論に参加いたしません。

この件につきましては、宮崎交通、第三セクター、そして岬の駅、宮崎交通は、ケーズコウポレーションに売却。その後競争入札により、株式会社アベニールとアンフィニ株式会社取得しそのままになっていましたが、串間市が粘り強く交渉した結果、4133万1000円で、交渉が成立しました、この価格については、予想以上の低価格であり、市民も異論のないと思います。休眠していた都井岬が一日も早く活性化を取り戻すことを期待いたしますが、今までの歴史を踏まえて二度と負の遺産にならないよう、民間業者との復興策は、慎重に時間をかけて協議していただきますよう、強く希望いたします。討論いたします。

●提案された議案に対する討論

議案第87号串間市民病院補正予算については、昨年度に次いで本年度も1億円以上の赤字が見込まれるとのことだが、議案では赤字予算となっている。薬品を含む材料費を減額し、人件費等を増額している。補正しなくても現予算内のできるものを、無駄な時間を費やして補正する必要はない。昨年の監査委員から同様の件を指摘されている、にも関わらず不自然であることから議案に反対。

議案第94号市木診療所、**第98号**市民病院の条例改正案は、総合診療科を設置するもので市民には喜ばしい限りであるが、医師おつての診療科、市木は医師不在となる。医師確保には市長を先頭に立て総力を挙げ市民と一体となり医師招へい活動を展開しなければ難しい。早急な対策を図り、市民の健康と安心・安全の確保を図るよう要望し議案に賛成。

議案第102号体育館・運動公

園の指定管理者の指定、この施設は建設されて30年以上市民に親しまれ、今日まで維持管理されてきた。今回この施設の管理・運営を外部に委ねる議案。今回選定された会社は本社が東京。生き残りをかけ地方創生を取り組む中です。応募したが選定から外れた市内2業者は専門業者に比べて現時点ではノウハウは見劣りするが、市内の業者を育成し、地場産業として育てる考えがあれば解決できるものです。重要なことはスポーツの振興と競技力の向上、市民の健康増進とあわせてスポーツ合宿等を推進することにより、いかに地域活性化が図られるかであります。この点を柱に据えて管理運営を願う議案に賛成します。



受理番号	陳情第3号	受付年月日	平成27年8月31日
		受理年月日	平成27年8月31日
請願陳情者の住所氏名	串間市大字本城7933番地 竹下 主之		
紹介議員			
件名	川内原発再稼働について公開住民説明会を求める陳情		
付託委員会	総務常任委員会	審査結果	継続審査
付託年月日	平成27年9月11日	議決年月日	平成27年12月11日

平成27年12月 第6回串間市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

		議決結果	坂中喜博	木代誠一郎	福留成人	川崎千穂	今江猛	武田浩一	瀬尾俊郎	井手明人	山口直嗣	門田国光	福添忠義	武田政英	児玉征威	中村利春	岩下幸良
市長提出議案	認定第1号	平成26年度串間市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	認定第2号	平成26年度串間市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	認定第3号	平成26年度串間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第4号	平成26年度串間市民病院事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第5号	平成26年度串間市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第6号	平成26年度串間市水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	認定第7号	平成26年度串間市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第8号	平成26年度串間市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	認定第9号	平成26年度串間市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第10号	平成26年度串間市物品特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第11号	平成26年度串間市介護保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	認定第12号	平成26年度串間市介護保険特別会計（サービス事業勘定）歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第13号	平成26年度串間市市木診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第84号	平成27年度串間市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第85号	平成27年度串間市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第86号	平成27年度串間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第87号	平成27年度串間市民病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	議案第88号	平成27年度串間市簡易水道特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第89号	平成27年度串間市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第90号	平成27年度串間市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第91号	平成27年度串間市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第92号	平成27年度串間市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第93号	平成27年度串間市介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第94号	平成27年度串間市市木診療所特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第95号	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第96号	串間市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	議案第97号	市税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	議案第98号	串間市民病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第99号	串間市国民健康保険税条例の一部改正する条例の一部改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第100号	串間市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	議案第101号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第102号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第103号	日南市と串間市との可燃ごみ処理に係る事務委託に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
議案第104号	公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第105号	公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第106号	公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第107号	平成27年度串間市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第108号	財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願・陳情	陳情第3号	川内原発再稼働について公開住民説明会を求める陳情	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		

○賛成 ×反対 -欠席等 -採決なし

※議長（岩下幸良）は採決に加わらないので「-」で表示 ※監査委員は決算認定採決に加わらないので「-」で表示

申間の石橋

6月に市上水路を利用した小水力発電所立地協定を受け、真萱の水路橋を見て石橋に興味を覚え、少し調べてみました。

まず大平小下に、第一宮之下橋(大正11年架設)、私の実家近くに胡桃ヶ野末広水路橋(仮称)、小さい頃には全く目に入りませんでした。日南との境国道220号下に奈留橋(明治39年?架設)、真萱水路橋(明治38年～41年)、三幸ヶ野水路橋(仮称)、三ヶ平橋(大正11年架設)秋山橋(秋山小近く)、国道220号有明～高松間の国道下に有明橋(仮称)長浜橋(仮称)高松橋(仮称)の3橋があります。次に、高松隧道から150m東進、左の細い道へ入り50m先左折、日南線をくぐり50m先に入反田の石橋、最後に、法泉寺参道橋(大正8年架設)八ヶ谷大將軍神社参道橋があり、合計13橋でした。



真萱水路橋

先人の知恵と努力に感動しながら、申間石橋巡りツアーはいかがですか。

申間市議会を見学してみませんか!

申間市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。定例議会は、『3月・6月・9月・12月』に開会しております。

「市民に信頼され、役立つ議会づくり」を基本理念に「申間市議会基本条例」を制定し、3年が経過いたしました。市民の声を市政に反映すべく議会運営に行政と一体となって取り組んでおります。

一人でも多くの市民の皆様、開かれた議会を理解していただく上でも、是非、議会へ足を運んでみてください。お待ちしております。

- ★ インターネット中継を実施しております。
議会がリアルタイムでご覧になれます。申間市のホームページ「市議会・インターネット中継」からどうぞ。

編集 後記

編集委員
山口直嗣

今年は例年になく暖かい日々が続いております。12月定例会も無事終わりました。今議会の目玉はなんといっても、旧都井岬観光ホテルの建物と土地の財産取得を全会一致にて可決したことであります。

地域創造計画で位置づけられた重要な観光政策であり、都井岬振興のために一日でも早く今後の計画を策定し、スピード感を持って取り組んでほしいと思います。

申間市では、東九州自動車道の全面バイパス決定と近いうちに事業化への見通し、福島高校と申間中学校との連携型中高一貫教育校の指

定、吉松邸を含む道の駅構想の中心市街地まちづくりなどが着々と進んでおります。再生エネルギー部門では風力発電・小水力発電と、申間市は今、動きだしました。

魅力ある活発な議会、市民のためにさまざまな視点で物事を考えていき、方向性を見出しながら市の行政に携わっていかねばならないと思います。

今後も市民の皆様に分かりやすい議会広報を目指しますので、皆様からの忌憚のないご感想、ご意見をお待ちしています。